

コース名	若手社員育成のためのコミュニケーション術 ～これからの上司に求められる部下育成のノウハウ～				
研修のねらい	人手不足が深刻化し、新たな人材の採用が厳しい状況になる中、企業が強みやチャンスを活かした積極的な経営活動を展開し続けていくためには、組織体制や戦力を維持・強化していくための人材育成が不可欠な取り組みとなります。中でも特に、創造性の高い活力ある会社づくりを永続的に進めていくには、会社の将来を担う若手社員の組織への定着化と育成が大きな経営課題となってきます。 本研修では、厳しい状況下で採用した貴重な若手社員のモチベーションを効果的に高めて組織に根付いてもらい、業績向上に貢献できる中核的な人財へと着実に育て上げていく上で、育てる側・上司に一番必須となるコミュニケーションスキルについて、ケーススタディや演習等を交えながらそのノウハウやヒントを実践的に学んでいただき、今後の若手社員育成と組織づくりにお役立ていただきます。				
研修の特長	・若手社員が組織に定着化して戦力となるための育成・支援のノウハウを学びます。 ・若手社員の主体性やバイタリティを引き出すコミュニケーションスキルを実践的に学びます。 ・今後の若手育成における具体的な行動プランをご検討いただきます。 ◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。 ・「No.25 信頼でつながり助け合う職場づくり」 2026年12月3日(木曜)～2026年12月4日(金曜)〈2日間〉 ・「No.42 魅力あるWebサイト構築の考え方・進め方」 2026年12月7日(月曜)～2026年12月8日(火曜)〈2日間〉 ・「No.26 チーム力を引出す！リーダーシップ強化研修」 2026年12月15日(火曜)～2026年12月17日(木曜)〈3日間〉				
研修期間	第1回2027年1月12日（火曜） 第2回2027年2月2日（火曜） 第3回2027年3月3日（水曜） 〈3時間×3日間〉				
対象者	職場の上司・リーダー 管理者候補 新任管理者・管理者 ・若手社員とのコミュニケーションをよりよくして いきたいと思う方	定員	30名	受講料	19,000円

日付	時間	科目	内容	講師
1/12 (火)	13時40分～14時00分	オリエンテーション		中小企業大学校担当職員
	14時00分～17時00分	若手社員のやる気を引き出す 支援・育成術	多様な価値観を持つ若手社員の意欲や主体性を効果的に引き出すOJTを実践しながら、着実なステップアップを上司として支援するための実践ノウハウについて、事例やディスカッションを交えながら実践的に学びます。 ・若手社員が組織に根付く環境と条件 ・人の成長に果たすコミュニケーションの役割と重要性 ・若手社員の主体性や創造性を引き出すOJTのコツ	松澤 宏一 株式会社ナレッジ・ジャパン 代表取締役
2/2 (火)	14時00分～17時00分	これからの上司に必要なコミュニケーションの実践スキル	次世代の若手社員を組織の中核人財・戦力へと育成していくために、上司としてまず身に付けておくべきコミュニケーションの基本を理解した上で、若手社員に個性や能力を十分に発揮してもらうためのコミュニケーションの実践ポイントを学びます。 ・上司が身に付けるべきコミュニケーションの基本 ・部下の成長を上手に後押しするコミュニケーションの実践法 ・若手社員とのコミュニケーションの留意点	
3/3 (水)	14時00分～17時00分	自社の若手社員育成プランの 検討（演習）	これまでに学んだ成果を活かして、今後の自社の若手社員の育成をどのように進めていくのかについて、グループディスカッションや講師のアドバイスを交えながら具体的な行動プランを作成し、研修の成果としてお持ち帰りいただきます。 ・自身のコミュニケーションスタイルの分析と改善課題の検討 ・自身の職場の若手社員育成の現状と課題 ・自社の若手社員の理想像とその育成プランの作成	
	17時00分～17時10分	修了証書の授与		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

※研修初日終了後から交流会を開催する予定です。

講師氏名	略歴
松澤 宏一 （まつざわ ひろかず） 株式会社ナレッジ・ジャパン 代表取締役	株式会社日興證券難波支店3年、その後株式会社西武百貨店家庭外商部に10年勤務し、勤務の傍らセントポールズ教育研究会設立（小学校・中学校・高等学校の補習、進学指導を中心とした学習塾経営）。学習塾拡大と日本語教育事業及び、コンピュータシステム開発事業開始のため、株式会社ナレッジ・ジャパンを設立、代表取締役に就任。同事業に専念するため、大手流通会社を退職し現在に至る。専門領域としては、経営学（経営戦略論・マーケティング論・組織論）や部下指導と育成、C S ・ E S 、チームビルディング、ロジカル・ライティングなど。